

宮農高同窓会報

編集兼発行
〒981-1242
名取市高館吉田字吉合66
宮城県農業高等学校
同窓会
TEL 022-384-2511
FAX 022-384-2512
印刷所 brain

ごあいさつ

同窓会長 高野 秀策



宮農同窓生の皆様には同窓会の運営に対し、格別なるご協力とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

去る9月5日に開催された、令和2年度同窓会総会において、森屋東蔵前会長がご退任され、その後任として浅学非才の身ではございますが同窓会長をお引き受けいたしました。
森屋前会長は10年という長期間にわたり会長を務め

られ、特に東日本大震災により、母校は壊滅的な被害を受けて使用不能となり、在校生が1日も早く、従来への教育が受けられるよう新校舎の用地取得に大いに貢献されました。

移転工事は順調に進み、平成30年3月に新校舎ならびに関連施設が名取市高館吉田に見事に落成しました。森屋前会長のご尽力とご功績に心から感謝とお礼を申し上げます。
母校は昭和52年に改訂さ

れた校訓、『自啓』（自らの力で、自らの道をひらく）を高く掲げ、在校生は大変恵まれた新しい教育環境で勉学に励んでいます。

今年、新型コロナウイルス感染症により、突然の学校休校や東京オリンピックの延期をはじめ、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために全てのイベント、会議、行事等が中止または内容が変更となりました。マスクの着用、3密の回避等日常生活に自粛が求められた1年でした。

ることができればと願っております。

母校は明治18年、宮城農学校として現在の仙台市太白区根岸町に開校し、今年で開校135周年になり、卒業生は22,400名に達しております。同窓生の皆様は、地域や職場のリーダーとして活躍されており、皆様のお力は同窓会発展の大きな推進力を担っていると思います。会長として微力ではございますが同窓会運営に精一杯努力いたしますので、会員皆様のご指導ご支援を賜りますようお願いいたします。



ライスセンター全景



稲束展示（生徒の学習用）



籾摺機3台、精米機1台

創立135年

新型コロナウイルス

感染症対策とともに



校長 峯岸 孝浩

同窓生の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、母校の教育振興と在校生の激励のために、平素より格別のご理解とご厚情を賜り衷心よりお礼申し上げます。

今年が年が明けた頃から新型コロナウイルス(COVID-19)感染症が騒がれ始め、1月下旬には世界保健機関が国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態を宣言したように、地球規模で感染が拡大し世界各国の主要都市でロックダウンが実施され、様々な社会問題や経済的影響を引き起こしました。

本県でも、3月から臨時休業、部活動も自粛の対応となつてしまいました。そんな中、本校では4月8日に動画配信による新任式、始業式を実施、4月9日には新入生と保護者それぞれ別の教室に入ってもらい動画配信による入学式

を実施した。

始業式や入学式は実施したものの、緊急事態宣言等で臨時休業が続きました。その間、我々教職員は科目ごと課題を作成し、自宅に郵送して生徒の学びの保障に努め、いつ学校が再開できるのか不安が募る中、本校教職員が一致団結して、生徒の学習のため、毎日農場に出かけ自らが汗を流し、野菜の定植や果樹の摘花作業、花壇植栽、牛や豚、鶏の世話、そして本校伝統行事のひとつである全校田植えを実施しました。さらには、販売実習もできないことから、先生方のアイデアで農産物の無人販売を実施し、地域の方々に好評を得ております。

6月1日からようやく授業をスタートしました。学校行事も精選し、毎日の自宅での検温、昇降口での消毒、マスクの着用、手洗いの励行、3密を避けるなど「学校の新しい

生活様式」を徹底的に実践しての授業再開となりました。しかし、このような状況下において県総合体育大会、全国高等学校総合体育大会、日本学校農業クラブ全国大会の中止の決定がなされました。3年生にとつては、とても残念な決定となつてしまい、生徒の活気も心配したところですが、生徒はこの素晴らしい教育環境の中で、学習に部活動に元気に取り組んでくれます。

7月下旬から宮城県高等学校総合体育大会の代替大会開催が可能となり、コロナウイルス感染症予防対策を講じながら各専門部で大会が開催されました。代替大会結果は、ウエイトリフティング部が個人戦11名参加し8名が優勝、柔道部が個人戦準優勝と3位、相撲部が団体2位、個人戦2位と活躍してくれました。令和2年度全国高等学校ウエイトリフティング競技通信記録会では、3年6組佐藤駿太郎さんが男子81kg級で全国ランキング1位、3年5組加納遙貴さんが男子61kg級6位、3年5組中里真子さんが女子55kg級6位、3年2組高田咲希さんが女子45kg級8位と全国大会での活躍がみられた結果でした。その一方で、危険を回避できないということではボクシング競技などは開催でき

ませんでした。また、文化部では写真部が第27回全国高等学校写真選手権大会写真甲子園において、3年4組零石麻梨愛さん、吉田彩華さん、3年2組遠藤栄奈さんのチームが見事本戦出場賞を受賞しました。本来であれば、北海道東川町での全国大会で活躍できたと思いますが・・・。

仙南高等学校美術展において、美術部が宮城県高等学校美術研究会賞を1名受賞したのをはじめ、3名が優秀賞を受賞、3名が奨励賞を受賞しました。さらに、第9回うまいもん甲子園決勝で3年1組岩間ほのかさん、2年1組若松愛唯華さん、1年5組黒香織さんのチームが見事準優勝(入賞2年ぶり3回目)水産庁長官賞を獲得しました。

3年1組岩間ほのかさんは、「毎日農業記録賞」優秀賞、全国農業高等学校長協会賞も受賞しました。また、第14回「全農学生『酪農の夢』コンクール」で2年2組佐藤瑞穂さんが入賞しました。

最後になりましたが、このコロナ禍の中、このように、学習活動や部活動、農業クラブ活動において多くの生徒が力をつけています。今年度は東北大会、全国大会という檜舞台での活躍の機会はありませんが、これからも我々教職員は、生徒一人ひとりの可能性を引き出し、寄り添い、時には活動を見守り、「学習環境」の整備だけでなく、「学習指導」「生徒指導」「進路指導」を更に研究し、充実していかねばならないと心を新たに取組んでまいります。今後ともどうか変わらぬご支援をお願い致します。同窓会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念し、挨拶いたします。



宮城県農業高等学校に赴任して



教頭 佐藤 洋

今年の4月から宮農高にお世話になっている教頭の佐藤洋と申します。前任校よりは若干通勤距離も近くなりまして、高速通勤も悪くないなあと思う今日この頃です。今年度は、コロナ感染症対策に始まり、臨時休校の延長措置がなされる異例な今年度のスタートになりました。今思うと、私にとって転機になった9年前の震災当時に似たような感覚と生徒が登校したくても登校できない状況や今までの生活が当たり前ではなくなったことなど、生徒に対する思いはなんとなくその当時と似ているように感じました。そんな感覚を持ちつつ新生宮農に赴任して、あの惨状から宮農がここまで復旧・復興したことが奇跡のように感じられるのは私だけではないはず。新校舎での再開も3年目を迎え、ようやく軌道に乗りにかけてきており、私自身は校長を支えしながら本校の振興と発展に少しでも貢献で

できればと思っています。さて、今年度も気づくと半分を終えて、3年生は自らの卒業後の進路決定に向けて全力を尽くす時期となっています。特に今年の3年生は勉強もしくかり、部活動も大会等が無くなるなど、まったく納得いくものではなかったはず。それでも、現実を受け止め前に進もうとした3年生諸君は立派でした。そしてお疲れさまでした。そこで、ちょっと私のつぶやきです。私も高校時代に闘球班（何部かわかりませんが、所属しての3年間。いつも負けてばかり。それも100点以上の大差（当時のとあるドラマのように）の時も。普通なら辞めたくなくなる。それでも楽しくて辞める気なんてさらさらなかったです。自分にとって体力・気力の発散の場だったように感じます。当然勝ちたいと思って練習はしていましたが、負けて悔しい気持ちも次にはやってやろうという発憤材料にっていました。そんな自分も大

学に進学しても真面目に（？）勉強のかたわら縁もあってこの競技を続けることになるのですが、話しはちよつと変わりますが、数年前にあまりに「勝つこと」にこだわりすぎて悪質な反則行為に及んだ大学の部活動が社会問題となりました。プロではなくアマチュア精神が求められる教育の現場で行われてしまったこと、とても残念でした。私が7年間所属していたスポーツ界の名監督の一人は「試合中に、こいつをのばして、頭を蹴っていったら勝てる」という時に、そこで、待てよ、それは悪いことだと、二律背反の葛藤を自分でコントロールできること、それがスポーツのいちばんの教育的価値じゃないかと感ずるんです」と語っています。スポーツは危険を伴うため、その競技を通して倫理観を身につけさせること。部活動の意義とは何なのかそんな論争にもなりかねないこの事件は、部

活は競技力を向上させるだけではなく、部活動のあり方にも一石を投じるそんな事柄のように思いました。よく「強ければいいのか」と弱小チームにいるとそんな負け犬の遠吠えみたいなことを言いますが、スポーツが持つ本質を今一度考えたい機会になる出来事だったなと思いきよつとつぶやいてしまいました。本校の運動部への加入率は5割以上。文化部への所属を含めると8割以上の生徒が加入して目標に向かって頑張っ

ている。こんなに部活動が盛んな学校に勤めたことがないので、大会での結果を聞くのがとても楽しみになっています。コロナ禍の状況で応援に行くことにも制限がありますが、できるだけ会場に足を運びたいと思っています。この環境の中、前向きに勉強と部活に頑張っている宮農生、そしてどんなサポートも厭わず全力でご指導いただいている先生方に感謝して私のつぶやきを終わりたいと思います。がんばれ宮農！

令和2年度退職者・転出者名簿		R 2.3.1 現在	
【退職】			
校長（農業）	後藤吉斎	徳一子彦康	退職
実習教諭（農業）	藤山岡藤田	武富今昭	退職
実習教諭（米養士）			退職
米養教諭（米養士）			退職
事務部長（事務）			退職
主任技師（巡視）			退職
【転出】			
教頭（農業）	岩加佐	喜淳創地紀聡匠	林高校校長
教諭（理科）	岩加佐	幸 大美	東農高校
教諭（社会）	岩加佐		柴田農高
教諭（農業）	岩加佐		東理高
主任寄宿舎指導員（寮務）	岩加佐		塩田高
再任技師（庁務）	岩加佐		加美高
再任技師（農業業務）	岩加佐		岩理高
臨時職員（農業業務）	岩加佐		岩理高
【任用期間満了】			
非常勤講師（英語）	川安	知典	界子
臨時職員（図書）	川安		

令和2年度転入者・採用者等名簿		R 2.4.1 現在	
【転入】			
校長（農業）	峯佐吉橋	孝 浩洋	林高校
教頭（農業）	峯佐吉橋	日理 和百	林高校
再任米養教諭（米養士）	峯佐吉橋	今万千美	林高校
実習助手（農業）	峯佐吉橋	美昌 小	林高校
実習助手（農業）	峯佐吉橋		林高校
寄宿舎指導員（寮務）	峯佐吉橋		林高校
副参事兼事務室長（事務）	峯佐吉橋		林高校
主査（図書）	峯佐吉橋		林高校
再任技師（巡視）	峯佐吉橋		林高校
再任技師（庁務）	峯佐吉橋		林高校
非常勤講師（英語）	峯佐吉橋		林高校
非常勤講師（地歴・理科）	峯佐吉橋		林高校
【新規】			
教諭（社会）	鍵木齋	谷幡藤	美介允
教諭（農業）	鍵木齋		
教諭（理科）	鍵木齋		

令和二年度総会開催

期日 令和2年9月5日(土)
会場 宮城県農業高等学校
大講義室

出席者 75名

日程

14:00 生徒による太鼓の演奏

14:30 記念講話

「今、学校で取り組んでいる事」

講師 食品化学科教諭 伊藤尚起先生
(平成15年C科卒)

15:00 総会

開会を前にして、物故者のご冥福を祈り黙祷を捧げた。

そして、今年の当番幹事の昭和48年卒の方々と母校に新しく着任された、峯岸校長先生、佐藤教頭先生、大岩事務室長の紹介があった。

総会の司会は、当番幹事の



佐藤一郎氏であり、会がとどこおりなく進められた。今年には新型コロナの影響で懇親会は中止とし、総会のみで解散した。

総会次第

一、開会

二、会長挨拶 森屋東蔵会長

三、校長挨拶 峯岸孝浩校長

四、協議 (議長森屋会長)

(1) 令和元年度事業報告並びに会計決算報告：原案と

おり承認

(2) 令和二年度事業計画並びに予算(案) 審議：原案と

おり議決

(3) 会則改正

第17条、事務局次長を追加する案：原案と

おり議決

(4) 役員改選

事前に役員選考委員会



新役員紹介 代表 新会長 高野秀策氏



元校長白石先生から森屋会長へのねぎらいの言葉



原案作成、八月の役員会で承認、その案を提示：これも原案どおり議決

令和元年度事業報告並びに会計報告

○会議他

平成31年

4月9日(火) 入学式 体育館

4月29日(祝) 役員会(歓迎迎会)

仙台ガーデンパレス

令和元年

7月17日(水) 14:00 監査会 宮農高

15:30 三役会

8月21日(水) 同窓会総会当番幹事打合せ

(S47-3卒) 宮農高

9月7日(土) 同窓会総会

(出席者106名)

宮農高 大講義室

懇親会 サッポロビール

仙台工場

10月2日(水) 歴史記念事業推進委員会

宮農高

10月23日(水) F F J 全国大会 開会式

宮農高

意見発表 宮農高

プロジェクト発表 名取市

文化会館

11月30日(木) 三役会 仙台ガーデンパレス

令和2年 2月8日(土) 役員会(祝賀会)

仙台ガーデンパレス

2月12日(水) 歴史記念事業推進委員会

宮農高

2月26日(水) 同窓会入会式

宮農高体育館

三役会 同窓会館

3月1日(日) 卒業式

宮農高体育館

○支部総会

令和元年 8月24日(土) 下増田支部

末広寿司分店

11月2日(土) 利府支部

利府駅前「ウサ見寿司」

11月15日(金) 名取市役所支部

「守屋寿司」

12月1日(日) 高館支部

高館公民館

令和2年 1月26日(日) 川崎支部

川崎公民館

2月23日(日) 松島支部

ホテル大松荘

○同窓会報

令和元年12月20日

第61号発行

発行部数3,500部

(内発送部数2,000部)

令和元年度 宮城県農業高等学校同窓会会計決算書

(自平成31年4月1日～至令和2年3月31日)

収入総額 2,918,033 円
支出総額 2,438,869 円
差引残額 479,164 円

1 (収入の部)

Table with 5 columns: 項目, 本年度予算額, 決算額, 増減, 摘要. Rows include 会費, 繰越金, 繰入金, 雑収入, 合計.

2 (支出の部)

Table with 5 columns: 項目, 本年度予算額, 決算額, 増減, 摘要. Rows include 消耗品費, 通信費, 光熱費, 渉外費, 事務所費, 旅費, 会議費, 支部連絡費, 会報発行費, 慶弔費, 負担金, 学校行事等補助費, 備品費, 会長交際費, 予備費, 基金, 合計.

監査報告 会計監査の結果、会計帳簿・証拠書類とも適正に処理され相違ないことを報告いたします。

監事 令和2年7月11日 板橋正春, 日野明夫, 横山長男

○(当選おめでとう)あります。(○)印当選回数

令和2年度事業計画

- (1) 会議・行事: 岩沼市議, 沼田健一殿, 岩沼市議, 佐藤一郎殿, 令和2年1月, 山田龍太郎殿. (2) 監査委員会: 令和2年7月11日. (3) 役員会: 令和2年8月22日. (4) 同窓会入会式: 令和3年2月下旬. (5) 支部総会開催の推進. (6) 会員の慶事・弔事.

総会

令和2年9月5日(土)

宮城県農業高等学校

(総会当番幹事)

昭和48年卒の方々)

同窓会入会式

令和3年2月下旬

支部総会開催の推進

生徒の諸活動への援助

会員の慶事・弔事に対して

の取り組み

(5) 同窓会報第62号の発行と会員への送付

(6) 歴史資料の保管整理・展示

会則改正

第17条 本部に事務局を置く。事務局には事務局長および幹事長、庶務、会計、幹事を置き会

長はこれを委嘱する。

嘱する。

嘱する。

嘱する。

(改正会則)

第17条 本部に事務局を置く。事務局には事務局長、事務局次長および幹事長、庶務、会計、幹事を置き会

長はこれを委嘱する。

長はこれを委嘱する。

会員の記事

心からのご冥福を

お祈りいたします

平成31年逝去

安細 隆之殿 (昭和42年H卒)

平成31年4月

令和元年逝去

佐藤 豊殿 (昭和20年H卒)

令和元年8月

鈴木 透殿 (昭和36年A卒)

令和元年9月

佐藤 智殿 (昭和34年A卒)

令和元年10月

大槻 英雄殿 (元宮農高教諭)

令和元年11月

川村 静夫殿 (昭和16年H卒)

令和元年11月

大友 壮殿 (昭和20年VZ卒)

令和元年11月

半澤謙太郎殿 (昭和41年Z卒)

令和元年12月

役員改選

役員選考委員（各支部長）による審議、文書による回答。

現 役 職	改 選 (案)
前校長 後 藤 武 徳 現校長 峰 岸 考 浩	顧 問 後 藤 武 徳 参 与 峰 岸 考 浩
会 長 森 屋 東 蔵	名誉会長 森 屋 東蔵 S 31. 3卒 高館
副会長 高 野 秀 策	会 長 高 野 秀 策 S 36. 3卒 岩切
幹 事 板 橋 正 春	副会長 板 橋 正 春 S 37. 3卒 高館
理 事 佐 山 富 崇	副会長 佐 山 富 崇 S 40. 3卒 山元
	理 事 山 口 實 S 43. 3卒 飯野坂
	理 事 伊 藤 貞 悦 S 45. 3卒 山元
	監 事 加 藤 治 S 47. 3卒 下増田
副会長 洞 口 健 一	留 任 S 36. 3卒 泉
副会長 沼 田 健 一	留 任 S 43. 3卒 岩沼
副会長 武 澤 正 一	留 任 S 35. 3卒 柴田
幹 事 日 野 明 夫	留 任 S 41. 3卒 利府
幹 事 横 山 長 男	留 任 S 43. 3卒 巨理

上記以外の理事は全員留任

宮城県農業高等学校同窓会役員一覧

顧問	清野義邦 S22.3-A	理事	郷湖健一 S32.3-H	關上支部長	針 生 太 S32.3-A
顧問	大山幸市 S22.3-A	理事	今野正志 S35.3-定中	南小泉支部長	
顧問	萱場正美 S24.3-A	理事	大内英夫 S35.3-A	川崎支部長	菅 原 英 男 S28.3-A
顧問	橋浦文夫 S26.3-高	理事	瀬戸 勲 S36.3-A	岩切支部長	
顧問	渡辺栄一 S27.3-A	理事	日下哲男 S37.3-Z	利府支部長	鈴 木 久一郎 S37.3-A
顧問	小林正一 S30.3-A	理事	小松信男 S37.3-A	泉支部長	庄 子 稔 S42.3-A
顧問	岩 渕 洋 一 S31.3-A	理事	松木達雄 S39.3-H	松島支部長	桜 井 公 一 S43.3-H
顧問	長田明光 S32.3-Z	理事	加藤幹夫 S39.3-A	秋保支部長	二 瓶 興 喜 S44.3-H
顧問	小野 隆 S37.3-A	理事	鎌田寿昭 S40.3-A	大郷支部長	千 葉 勇 治 S44.3-A
顧問	山口 稔郎 S45.3-A	理事	鈴木恒夫 S42.3-A	東松島支部長	木 村 辰 秀 S27.3-A
顧問元校長	山田正彦 S26.3-高	理事	千葉養治 S42.3-A	本吉気仙沼支部長	昆 野 忠 男 S26.3-高
顧問元校長	山田 諄 S26.3-高	理事	岸浪俊一 S43.3-H	登米支部長	加 藤 義 隆 S22.3-VZ
顧問元校長	竹内一誠	理事	菊地一夫 S43.3-A	石巻支部長	小野寺 侑 S47.3-Z
顧問元校長	遠藤紀一	理事	岡崎清治 S43.3-定秋	遠田南郷支部長	斎 藤 義 行 S50.3-Z
顧問元校長	齋 輝 夫	理事	山口 實 S43.3-A	福島支部長	島 義 重 S33.3-A
顧問元校長	早坂公夫	理事	伊藤貞悦 S45.3-Z	岩手支部長	舟 山 正 三 S28.3-A
顧問元校長	白石喜久夫	理事	後藤正廣 S46.3-Z	北海道支部長	平 間 正 男 S29.3-A
顧問元校長	佐々木英一	理事	洞口周士 S46.3-A	名取市職員支部長	渡 辺 正 行 S55.3-M
顧問元校長	後藤武徳	監事	日野明夫 S41.3-T	県庁茂陵会支部長	赤 間 明 S45.3-T
参与現校長	峯岸孝浩	監事	横山長男 S43.3-A	造園組合支部長	秋 葉 実 S52.3-H
名誉会長	森屋東蔵 S31.3-Z	監事	加藤治 S47.3-Z	幹事長	佐 藤 和 夫 S63.3-M
会長	高野秀策 S36.3-A	事務局次長	小澤哲男 S42.3-C	会計	佐 藤 淳 H3.3-AH
副会長・事務局長	武澤正一 S35.3-H	山元支部長	阿部修久 S34.3-A	会計	小 島 宗 工 H14.3-AH
副会長	洞 口 健 一 S36.3-A	巨理支部長		幹事・庶務	菅 井 春 長 S50.3-Z
副会長	沼 田 健 一 S43.3-A	柴田支部長		幹事・庶務	板 橋 一 博 S59.3-AH
副会長	板 橋 正 春 S37.3-H	岩沼支部長	鎌 田 健 一 S29.3-H	幹事・庶務	鈴 木 順 H4.3-C
副会長	佐 山 富 崇 S40.3-H	上余田支部長	庄 司 正 良 S43.3-A	幹事・庶務	大 友 孝 幸 H5.3-AH
理事	武 田 道 夫 S22.3-A	館腰支部長	大 友 広 嗣 S30.3-A	幹事・庶務	平 間 直 人 H6.3-AH
理事	赤 間 源 吉 S27.3-A	下増田支部長	鈴 木 英 二 S35.3-Z	幹事・庶務	奥 田 朋 恒 H9.3-C
理事	高 橋 久 吉 S29.3-A	六郷支部長		幹事・庶務	赤井澤 徹 H11.3-AH
理事	菅 原 幸 也 S29.3-H	七郷支部長	阿 部 欽 一 S27.3-A	幹事・庶務	伊 藤 尚 起 H15.3-C
理事	熊 谷 貞 男 S32.3-A	増田支部長	渡 辺 武 S42.3-H		
理事	佐 藤 嘉 郎 S32.3-H	高館支部長	今 野 繁 夫 S35.3-Z		